

令和元年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発
ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

分担研究報告書

研究分担課題名：HIV 感染妊娠に関する研究の統括と成績の評価および妊婦の HIV 感染に関する
認識度の実態調査」

研究分担者：喜多恒和 奈良県総合医療センター
周産期母子医療センター兼産婦人科、センター長兼統括部長

研究協力者：宮木康成 医療法人緑風会三宅おおふくクリニック 院長
Medical Data Labo 代表

佐道俊幸 奈良県総合医療センター 産婦人科 部長
多田和美 独協医科大学医学部・大学院 産婦人科学講座 講師
石橋理子 奈良県総合医療センター産婦人科 医長
吉野直人 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野 准教授
杉浦 敦 奈良県総合医療センター産婦人科 医長
田中瑞恵 国立国際医療研究センター小児科 医員
山田里佳 JA 愛知厚生連 海南病院産婦人科 外来部長
定月みゆき 国立国際医療研究センター産婦人科 産科医長
桃原祥人 東京都立大塚病院産婦人科 部長
大津 洋 国立国際医療研究センター臨床研究センター 臨床疫学研究室長
外川正生 大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科 部長
戸谷良造 和合病院 副院長
塚原優己 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター産科 診療部長
和田裕一 宮城県産婦人科医会 理事

研究補助員：榎本美喜子 奈良県総合医療センター産婦人科

研究要旨：

各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価し、各研究分担の研究計画を適時修正した。ホームページの継続的運営によりマニュアル・ガイドラインや学会発表スライドの公開および社会的情報の拡散を行い、医療従事者および国民の HIV 感染妊娠に関わる認識と知識の向上を図った。さらにホームページの更新内容が閲覧数の変動におよぼす影響について経時的に観察している。HIV スクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避するために、医療機関に受診する妊娠初期の妊婦を対象に、HIV スクリーニング検査に関する基礎知識とスクリーニング検査が陽性であった場合の反応についてアンケート調査を行った。過去3年間のアンケート調査結果から、妊婦の知識レベルは非常に低いことは判明しており、小冊子の配布などによる情報提供等、何らかの介入が必要であろうことが推察されている。令和元年度では大学病院1か所、公的病院2か所、市中病院1か所、有床診療所2か所の妊婦439人を対象とし、アンケート調査を行った。しかし81.1%の妊婦が母子感染をする可能性があるを知っているにもかかわらず、スクリーニング検査の意義や偽陽

性について知識があるものは 6.6%にとどまった。さらにスクリーニング検査で偽陽性と告げられた際に、49.1%が非常に動揺すると回答し、本アンケートを行うことで HIV 母子感染について 93.8%があらたな知識を得たと回答したことから、HIV スクリーニング検査に関する妊婦の知識レベルは、非常に低いと考えられた。これらの結果は平成 28 年度から 30 年度のアンケート調査結果とほぼ同様で、介入の無い現状では経時的にも地域的にも差はなく、妊婦の知識レベルの向上は期待できない。本アンケート調査を継続的に実施することは、妊婦における HIV 感染妊娠に関する知識レベルの指標となり得ると考えられ、またアンケート依頼文は副次的に妊娠女性への教育啓発としての意義もあると考えられる。そして HIV 感染に関するリーフレットや小冊子などの配布という情報の普及啓発法の開発により医療従事者や一般国民へ介入することが、国民全体の知識レベルの向上につながることをアンケート調査の継続により検証できると考えられた。

A.研究目的

1. 各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価する。
2. ホームページの継続的運営により研究成果を公開する。
3. HIV スクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避する適切な対策を提案する。

B.研究方法

1. 研究分担者相互による研究計画評価会議や、研究協力者も加えた研究班全体会議を適時行い、各研究分担の進捗状況と成績を相互評価し、年度ごとあるいは年度にまたがる研究計画の修正を行った。
2. ホームページの継続的運営により研究成果や最新情報を公開することで、HIV 感染妊娠に関わる国民の認識と知識の向上に寄与した。
3. 地域や医療レベルの異なる 6 か所の定点施設の妊婦に対し、HIV 感染に関するアンケート調査を毎年継続的に実施し、偽陽性に関する理解度など妊婦の知識レベルの変化を把握し、教育啓発活動に資することとした。妊婦アンケート調査の対象施設は、①大学病院；獨協医科大学病院（栃木県）、②公的病院；奈良県総合医療センター（奈良県）・都立大塚病院（東京都）、③市中病院；成増産院（東京都）、④有床診療所；松田母子クリニック（埼玉県）・伊東レデ

ィースクリニック（大分県）の 6 施設とした。すべて研究分担者あるいは研究協力者が所属する施設とした。資料 1 にアンケート調査説明文を、資料 2 にアンケート調査回答用紙を示す。（倫理面への配慮）

当班の研究では HIV 感染に関わる産科医療と小児医療および社会医学の中で行われることから、基本的に「倫理面への配慮」は欠くべからざるものである。細心の注意をもって対処した。調査研究においては、平成 29 年 2 月改正告示の文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守しプライバシーの保護に努めた。

C.研究結果

1. 研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる研究計画評価会議を年 2 回開催した。令和元年度は、6 月 8 日（土、東京）と 11 月 10 日（日、京都）にて開催。研究班全体会議も年 2 回開催した。令和元年度は 6 月 9 日（日、東京）と 2020 年 1 月 26 日（日、東京）に開催した。各研究分担の研究計画を修正した。マニュアルは第 8 版として改訂し、2019 年 3 月に刊行した。これを全国のエイズ治療拠点病院、保健所、周産期母子医療センターなどに郵送し、また日本産科婦人科学会や日本周産期・新生児医学会などの全国学会学術集会にて配布した。産科・小児科班による HIV 感染妊娠の発生に関

する全国調査や報告症例のデータベースの管理を IT 化し、データの共有化と解析の迅速化を目指した。

2. ホームページの運営では、「HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン」初版、「HIV 母子感染予防対策マニュアル」第 8 版、研究報告書および各種学会発表スライドや社会的最新情報なども掲載した。さらにホームページの閲覧状況を毎月経時的に把握し、掲載内容の更新と閲覧数の変動を解析することにより、ホームページの啓発効果を検討した（資料 3）。Q&A、ガイドライン・マニュアル・リーフレット、HOME のコーナーの順に閲覧数が多く、資料ダウンロードや研究報告書のコーナーの閲覧数は少なかった。

3. 妊娠初期の妊婦を対象とした HIV スクリーニング検査に関するアンケート調査の令和元年度の結果は表 1 に、定点 6 か所のそれぞれの 3 年間の解析結果も表 2～表 7 に示した。獨協医科大学、都立大塚病院、伊東レディースクリニックでアンケート集積数が少なかった。原因は、前 2 施設では産科外来における対象者へのアンケート実施漏れが、残り 1 施設では対象者総数の不足であろうと推測された。439 例の調査結果は、HIV が母子感染することを知っていたのは 81.1%であったものの、スクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていたのは 48.7%のみで、さらにスクリーニング検査が陽性であっても、95%以上は偽陽性であることを知っていたのは、たった 6.6%であることが判明した。スクリーニング検査が陽性であった場合、確認検査結果が出るまでの 1 週間は非常に動揺すると回答したのが 49.1%におよび、今回のアンケート調査の説明文により知識が増えたと回答したのが 93.8%もあった。また平成 28 年度に奈良県総合医療センターで行ったパイロット調査（136 例）や、平成 29 年度から平成 30 年度に定点 6 施設で行った過去 2 年間の調査結果と比較してもほぼ同様であり、経時的な差や調査施設の地域差はほとんどみられなかった

（表 2～7）。大学病院や公的病院では 35 歳以上の高齢出産の比率は高い傾向にあったが出産回数に施設間の差はなかった。さらに、過去にも同様のアンケート調査を受けた妊婦は 0.9%のみで、ほとんどが初回回答であったことも確認した。

D. 考察

1. 本研究班では、全国の産科・小児科を標榜する多数の医療施設を対象とした疫学調査とその解析を骨幹としている。さらに HIV 感染女性を対象としたコホート調査やアンケート調査も行い、医療者向け診療ガイドラインや母子感染予防対策マニュアルの策定・改訂、さらには HIV をはじめとする性感染症の情報を提供するリーフレットや小冊子の刊行などの国民への教育啓発法の開発も行っている。研究分担班内での研究推進のみならず、研究計画評価会議による研究分担者間での軌道修正は、各分担研究課題の完遂と成果をより高めることに有効であったと考える。

2. 本研究班の活動内容を適時公開することは、国民への教育啓発に直結することから、各種の情報掲載による HP の更新を頻回に行い、閲覧者の最も多い入り口である Q&A コーナーの改訂と内容追加、他の関連学会や団体の HP とのリンクなどが必要である。

3. 妊婦へのアンケート調査から、妊婦の HIV 感染に関する知識レベルは経時的にも地域的にも非常に低いまま経過している。しかしこのアンケート調査は、依頼文によりスクリーニング検査及び偽陽性率の高さについて説明し、妊婦各自が読んだうえでの設問・回答であることから、副次的に妊娠女性への教育啓発としての意義もあると考えられる。したがって定点調査施設やその周囲の分娩取扱施設において、初診時の妊娠初期にリーフレットを配布することで、妊婦の知識レベルの向上に寄与できるかどうかを、令和 2 年度の本アンケート調査により検証する予定である。

E. 結論

研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる複数回の研究計画評価会議により、研究計画の修正と確実な研究遂行が可能となった。しかしながら、妊婦においては HIV 感染妊娠に関する知識レベルは低く、ホームページの充実や若者向けのリーフレットや小冊子の発行ならびに SNS やマスコミの活用など、より適切で有効な教育啓発法の開発とそれらの効果の検証が必要であると考えられた。

G. 研究業績

著書

1. 山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、出口雅士、中西 豊、定月みゆき、大里和広、白野倫徳、田中瑞恵、鳥谷部邦明、千田時弘、杉野祐子、渡邊英恵、羽柴知恵子、吉野直人、杉浦 敦、廣瀬紀子、前田尚子、桃原祥人、喜多恒和：HIV 母子感染予防対策マニュアル 第 8 版. 平成 30 年度厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班編 2019
2. 田中瑞恵：後天性免疫不全症. 小児科診療ガイドライン第 4 版（五十嵐隆編） 総合医学社 東京 pp580-589, 2019
3. 田中瑞恵：小児の HIV 感染症. 今日の小児治療指針第 17 版（水口雅編） 医学書院 東京 in press
4. 外川正生：小児、青少年期における抗 HIV 療法. 抗 HIV 治療ガイドライン（鯉渕智彦、白阪琢磨編）（2019 年 3 月発行 7 月 27 日改訂），平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 抗 HIV 治療ガイドライン HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班，128-141, 2019

論文

1. 杉浦 敦、喜多恒和：特集周産期と医療安全 感染予防. 周産期医学 49：702-705, 2019
2. 杉浦 敦：近年の HIV 感染妊娠、特に母子感染例におけるその臨床的・疫学的検討. 産科と婦人科「若手の最新研究紹介コーナー」 86：371-373, 2019
3. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究. 平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 エイズ対策研究事業の企画と評価に関する研究 総括研究報告書 福武勝幸編 76-79, 2019
4. 山田里佳、白野倫徳、谷口晴記、喜多恒和：特集母子感染症の必修知識—エキスパートに学び予防につなげる HIV 母体管理—分娩管理を含めて. 小児内科、52：96-100, 2020
5. 田中瑞恵：HIV 母体児への対応とフォローアップ. 小児内科、52：101-104, 2020

学会発表

<シンポジウム>

1. 杉浦 敦、市田宏司、山中彰一郎、竹田善紀、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、大津 洋、外川正生、喜多恒和：（日本エイズ学会との Joint Symposium）HIV 感染予防の最近の話題—PrEP、U=U などの話題とともに—最近の HIV 母子感染の動向. 日本性感染症学会第 32 回学術大会. 京都、2019. 11
2. 山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、

白野倫徳、出口雅士、中西 豊、鳥谷部邦明、大里和広、千田時弘、杉野祐子、羽柴知恵子、渡邊英恵、定月みゆき、田中瑞恵、喜多恒和：(日本エイズ学会との Joint Symposium) HIV 感染予防の最近の話題ー PrEP、U=U などの話題とともにーHIV 母子感染予防マニュアルについてー 一挙児希望 HIV 感染者の感染予防の紹介ー。日本性感染症学会第 32 回学術大会。京都、2019. 11

3. 喜多恒和：(市民公開講座) HIV 母子感染の現状。市民公開講座「感染症から母子を守るために」。沖縄、2020. 2
4. 佐道俊幸：(市民公開講座) クラミジア・ヘルペス・サイトメガロ・トキソプラズマ・HTLV 等の母子感染について。市民公開講座「感染症から母子を守るために」。沖縄、2020. 2

<一般演題>

1. 田中瑞恵：HIV 母子感染の現状と今後の課題。国際母子カンファレンス。東京、2019. 1
2. Sugiura A, Ichida H, Nakanishi M, Minoura S, Matsuda H, Takano M, Momohara Y, Sakumoto K, Ohta H, Ishibashi S, Takeda Y, Kita T: Mother to child transmission of HIV in Japan during the antiretroviral therapy (ART) era. 第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会。名古屋、2019. 4
3. 山田里佳、喜多恒和、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、千田時弘、大里和広、中西 豊、定月みゆき、鳥谷部邦明、杉浦 敦、桃原祥人、出口雅士：日本における HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版の改訂について。第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会。名古屋、2019. 4
4. 大里和広、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一、塚原優己、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニングと未受診妊婦の問題点ー妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する

全国調査。第 71 回日本産科婦人科学会学術講演会。名古屋、2019. 4

5. 桃原祥人、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、塚原優己、渡邊英恵、羽柴知恵子、廣瀬紀子、佐野貴子、鈴木ひとみ、長與由紀子、谷村憲司、森實真由美、木内 英、喜多恒和：妊婦健診における HIV 検査の公費負担及び母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査。第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会。宮崎、2019. 5
6. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、谷口晴記、桃原祥人、定月みゆき、塚原優己、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査における未受診妊婦の HIV スクリーニングの状況。第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会。宮崎、2019. 5
7. 杉浦 敦、山中彰一郎、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 母子感染の国内分娩例に関する検討。第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会。宮崎、2019. 5
8. 山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、白野倫徳、出口雅士、中西 豊、鳥谷部 邦明、大里和広、千田時弘、杉野祐子、羽柴知恵子、渡邊英恵、杉浦 敦、吉野直人、定月みゆき、田中瑞恵、桃原祥人、喜多恒和：「HIV 母子感染マニュアル第 8 版」改訂内容について。第 36 回日本産婦人科感染症学会学術集会。宮崎、2019. 5
9. 杉浦 敦、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、高野政志、桃原祥人、佐久本 薫、石橋理子、松田秀雄、吉野直人、喜多恒和：HIV 感染妊娠と早産に関する検討。第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会。松本、2019. 7

10. 桃原祥人、吉野直人、大里和広、小山理恵、塚原優己、谷村憲司、森實真由美、木内 英、喜多恒和：HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本、2019. 7
11. 鳥谷部邦明、谷口晴記、吉野直人、杉浦 敦、定月みゆき、桃原祥人、出口雅士、大里和広、喜多恒和：日本における HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン初版と HIV 母子感染予防対策マニュアル第 7 版の改訂. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本、2019. 7
12. 大里和広、吉野直人、小山理恵、杉浦 敦、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査における未受診妊婦の問題. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本、2019. 7
13. 定月みゆき、中西美紗緒、蓮尾泰之、林 公一、喜多恒和：HIV 感染妊娠の経膈分娩導入に関してわが国が抱える診療体制の課題. 第 55 回日本周産期・新生児学会学術集会. 松本、2019. 7
14. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人、大津 洋：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究. 令和元年度エイズ対策研究事業の企画と評価に関する研究 厚生労働省エイズ対策政策研究事業 日本医療研究開発機構エイズ対策実用化研究事業合同研究成果発表会. 東京、2019. 8
15. 伊藤由子、吉野直人、大里和広、小山理恵、高橋尚子、喜多恒和：梅毒感染妊婦に関する全国調査. 第 50 回日本看護学会. 長野、2019. 9
16. 桃原祥人、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、塚原優己、渡邊英恵、羽柴知恵子、廣瀬紀子、佐野貴子、鈴木ひとみ、長與由紀子、津國瑞紀、浅野 真、谷村憲司、森實真由美、木内 英、喜多恒和：HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査と今後の啓発活動の考察. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11
17. 杉浦 敦、山中彰一郎、竹田善紀、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、藤田 綾、高橋尚子、大津 洋、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：本邦における HIV 感染妊娠の将来予測. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11
18. 竹田善紀、杉浦 敦、山中彰一郎、市田宏司、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、高橋尚子、吉野直人、山田里佳、定月みゆき、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 感染の判明時期が妊娠後期・分娩後であった症例に関する検討. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11
19. 白野倫徳、山田里佳、谷口晴記、塚原優己、井上孝実、出口雅士、中西 豊、鳥谷部邦明、大里和広、千田時弘、杉野裕子、羽柴知恵子、渡邊英恵、杉浦 敦、吉野直人、定月みゆき、田中瑞恵、桃原祥人、喜多恒和：HIV 母子感染予防の cART～「HIV 母子感染予防対策マニュアル (第 8 版)」および「HIV 感染妊娠に関する診療ガイドライン (初版)」より～. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11
20. 大里和広、吉野直人、伊藤由子、小山理恵、高橋尚子、杉野 敦、田中瑞恵、山田里佳、谷口晴記、桃原祥人、定月みゆき、塚原優己、喜多恒和：未受信妊婦の HIV スクリーニングの現状—妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査より. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11
21. 吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、

高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、外川正生、喜多恒和：妊婦 HIV スクリーニング検査陽性症例の診療対応－産婦人科全国調査－. 第 33 回日本エイズ学会学術集会 熊本、2019. 11

22. 吉野直人、田中瑞恵、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、外川正生、喜多恒和：HIV 感染児の診療対応－小児科全国調査－. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11

23. 伊藤由子、吉野直人、杉浦 敦、大里和広、小山理恵、高橋尚子、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒

和：HIV および梅毒感染妊婦に関する全国調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11

24. 大津 洋、田中瑞恵、佐々木泰治、北島浩二、杉浦 敦、吉野直人、喜多恒和：本邦の HIV 感染妊娠の母子調査における患者報告データを併用したリアルワールド情報収集に向けた取り組み. 第 33 回日本エイズ学会学術集会. 熊本、2019. 11

H. 知的財産権の出願・登録状況

- | | |
|-----------|----|
| 1. 特許取得 | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他 | なし |

(表 1)

施設名	大学病院	公的病院		市中病院	有床診療所		合計	(参考) 前々々合計 (H28年度)	(参考) 前々回合計 (H29年度)	(参考) 前回合計 (H30年度)
	獨協医科大学	奈良県総合 医療センター	都立大塚病院	成増産院	伊東レディース クリニック	松田母子 クリニック				
回答数	22	100	59	99	59	100	439	136	395	314
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。										
1:はい	20 (90.9%)	83 (83.0%)	47 (79.7%)	80 (80.8%)	45 (76.3%)	81 (81.0%)	356 (81.1%)	121 (88.3%)	321 (81.5%)	254 (80.9%)
2:いいえ	2 (9.1%)	17 (17.0%)	12 (20.3%)	19 (19.2%)	14 (23.7%)	19 (19.0%)	83 (18.9%)	16 (11.7%)	73 (18.5%)	60 (19.1%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。										
1:はい	11 (50.0%)	45 (45.0%)	27 (45.8%)	52 (52.5%)	21 (35.6%)	58 (58.0%)	214 (48.7%)	71 (52.2%)	212 (53.8%)	150 (47.8%)
2:いいえ	11 (50.0%)	55 (55.0%)	32 (54.2%)	47 (47.5%)	38 (64.4%)	42 (42.0%)	225 (51.3%)	65 (47.8%)	182 (46.2%)	164 (52.2%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。										
1:はい	0 (0.0%)	6 (6.0%)	5 (8.5%)	2 (2.0%)	4 (6.8%)	12 (12.0%)	29 (6.6%)	9 (6.6%)	21 (5.3%)	15 (4.8%)
2:いいえ	22 (100.0%)	94 (94.0%)	54 (91.5%)	97 (98.0%)	55 (93.2%)	88 (88.0%)	410 (93.4%)	127 (93.4%)	373 (94.7%)	299 (95.2%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまでに1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。										
1:非常に動揺する	12 (54.5%)	54 (54.0%)	35 (59.3%)	49 (50.0%)	29 (49.2%)	36 (36.0%)	215 (49.1%)	72 (52.9%)	203 (51.8%)	148 (47.1%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	10 (45.5%)	41 (41.0%)	20 (33.9%)	35 (35.7%)	20 (33.9%)	55 (55.0%)	181 (41.3%)	49 (36.0%)	156 (39.8%)	123 (39.2%)
3:あまり気にならない	0 (0.0%)	5 (5.0%)	4 (6.8%)	14 (14.3%)	10 (16.9%)	9 (9.0%)	42 (9.6%)	15 (11.0%)	33 (8.4%)	43 (13.7%)
⑤年齢										
1:20歳未満	0 (0.0%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)	2 (1.5%)	4 (1.0%)	5 (1.6%)
2:20歳～24歳	0 (0.0%)	3 (3.0%)	1 (1.7%)	8 (8.1%)	11 (18.6%)	11 (11.0%)	34 (7.7%)	9 (6.6%)	30 (7.6%)	29 (9.3%)
3:25歳～29歳	2 (9.1%)	11 (11.0%)	9 (15.3%)	31 (31.3%)	18 (30.5%)	33 (33.0%)	104 (23.7%)	24 (17.6%)	76 (19.3%)	65 (20.8%)
4:30歳～34歳	7 (31.8%)	34 (34.0%)	19 (32.2%)	36 (36.4%)	16 (27.1%)	39 (39.0%)	151 (34.4%)	52 (38.2%)	146 (37.2%)	120 (38.3%)
5:35歳～39歳	8 (36.4%)	28 (28.0%)	20 (33.9%)	21 (21.2%)	12 (20.3%)	15 (15.0%)	104 (23.7%)	36 (26.5%)	106 (27.0%)	78 (24.9%)
6:40歳以上	5 (22.7%)	22 (22.0%)	10 (16.9%)	2 (2.0%)	1 (1.7%)	2 (2.0%)	42 (9.6%)	13 (9.6%)	31 (7.9%)	16 (5.1%)
⑥出産回数										
1:0回	10 (45.5%)	49 (49.0%)	29 (49.2%)	50 (50.5%)	27 (45.8%)	51 (51.0%)	216 (49.2%)	71 (52.2%)	171 (43.5%)	169 (54.0%)
2:1回	8 (36.4%)	32 (32.0%)	20 (33.9%)	33 (33.3%)	17 (28.8%)	38 (38.0%)	148 (33.7%)	49 (36.0%)	156 (39.7%)	99 (31.6%)
3:2回	4 (18.2%)	19 (19.0%)	10 (16.9%)	16 (16.2%)	15 (25.4%)	11 (11.0%)	75 (17.1%)	16 (11.8%)	66 (16.8%)	45 (14.4%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。										
1:増えた	22 (100.0%)	96 (96.0%)	55 (93.2%)	94 (94.9%)	57 (96.6%)	87 (87.0%)	411 (93.8%)	130 (95.6%)	380 (97.2%)	301 (96.2%)
2:増えなかった	0 (0.0%)	3 (3.0%)	4 (6.8%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	12 (12.0%)	23 (5.3%)	6 (4.4%)	11 (2.8%)	10 (3.2%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	2 (3.4%)	1 (1.0%)	4 (0.9%)			2 (0.6%)

(表 2)

獨協医科大学	H29年度	H30年度	R1年度	合計
回答数	20	19	22	61
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。				
1:はい	16 (80.0%)	17 (89.5%)	20 (90.9%)	53 (86.9%)
2:いいえ	4 (20.0%)	2 (10.5%)	2 (9.1%)	8 (13.1%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。				
1:はい	8 (40.0%)	7 (36.8%)	11 (50.0%)	26 (42.6%)
2:いいえ	12 (60.0%)	12 (63.2%)	11 (50.0%)	35 (57.4%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。				
1:はい	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2:いいえ	20 (100.0%)	19 (100.0%)	22 (100.0%)	61 (100.0%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。				
1:非常に動揺する	10 (50.0%)	7 (36.8%)	12 (54.5%)	29 (47.5%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	8 (40.0%)	9 (47.4%)	10 (45.5%)	27 (44.3%)
3:あまり気にならない	2 (10.0%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	5 (8.2%)
⑤年齢				
1:20歳未満	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)
2:20歳～24歳	1 (5.0%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	3 (4.9%)
3:25歳～29歳	4 (20.0%)	2 (10.5%)	2 (9.1%)	8 (13.1%)
4:30歳～34歳	5 (25.0%)	6 (31.6%)	7 (31.8%)	18 (29.5%)
5:35歳～39歳	7 (35.0%)	7 (36.8%)	8 (36.4%)	22 (36.1%)
6:40歳以上	3 (15.0%)	1 (5.3%)	5 (22.7%)	9 (14.8%)
⑥出産回数				
1:0回	8 (40.0%)	11 (57.9%)	10 (45.5%)	29 (47.5%)
2:1回	6 (30.0%)	6 (31.6%)	8 (36.4%)	20 (32.8%)
3:2回	6 (30.0%)	2 (10.5%)	4 (18.2%)	12 (19.7%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。				
1:増えた	20 (100.0%)	19 (100.0%)	22 (100.0%)	61 (100.0%)
2:増えなかった	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(表 3)

奈良県総合医療センター	H29年度	H30年度	R1年度	合計
回答数	91	64	100	255
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。				
1:はい	75 (82.4%)	51 (79.7%)	83 (83.0%)	209 (82.0%)
2:いいえ	16 (17.6%)	13 (20.3%)	17 (17.0%)	46 (18.0%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。				
1:はい	44 (48.4%)	25 (39.1%)	45 (45.0%)	114 (44.7%)
2:いいえ	47 (51.6%)	39 (60.9%)	55 (55.0%)	141 (55.3%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。				
1:はい	10 (11.0%)	3 (4.7%)	6 (6.0%)	19 (7.5%)
2:いいえ	81 (89.0%)	61 (95.3%)	94 (94.0%)	236 (92.5%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。				
1:非常に動揺する	51 (56.0%)	40 (62.5%)	54 (54.0%)	145 (56.9%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	31 (34.1%)	16 (25.0%)	41 (41.0%)	88 (34.5%)
3:あまり気にならない	9 (9.9%)	8 (12.5%)	5 (5.0%)	22 (8.6%)
⑤年齢				
1:20歳未満	1 (1.1%)	2 (3.1%)	2 (2.0%)	5 (2.0%)
2:20歳～24歳	9 (9.9%)	3 (4.7%)	3 (3.0%)	15 (5.9%)
3:25歳～29歳	16 (17.6%)	12 (18.8%)	11 (11.0%)	39 (15.3%)
4:30歳～34歳	32 (35.2%)	18 (28.1%)	34 (34.0%)	84 (32.9%)
5:35歳～39歳	25 (27.5%)	21 (32.8%)	28 (28.0%)	74 (29.0%)
6:40歳以上	8 (8.8%)	8 (12.5%)	22 (22.0%)	38 (14.9%)
⑥出産回数				
1:0回	44 (48.4%)	39 (60.9%)	49 (49.0%)	132 (51.8%)
2:1回	33 (36.3%)	15 (23.4%)	32 (32.0%)	80 (31.4%)
3:2回	14 (15.4%)	10 (15.6%)	19 (19.0%)	43 (16.9%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。				
1:増えた	88 (97.8%)	60 (93.8%)	96 (96.0%)	244 (96.1%)
2:増えなかった	2 (2.2%)	3 (4.7%)	3 (3.0%)	8 (3.1%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	1 (1.6%)	1 (1.0%)	2 (0.8%)

(表 4)

東京都立大塚病院	H29年度	H30年度	R1年度	合計
回答数	47	13	59	119
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。				
1:はい	37 (78.7%)	11 (84.6%)	47 (79.7%)	95 (79.8%)
2:いいえ	10 (21.3%)	2 (15.4%)	12 (20.3%)	24 (20.2%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。				
1:はい	26 (55.3%)	6 (46.2%)	27 (45.8%)	59 (49.6%)
2:いいえ	21 (44.7%)	7 (53.8%)	32 (54.2%)	60 (50.4%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。				
1:はい	1 (2.1%)	1 (7.7%)	5 (8.5%)	7 (5.9%)
2:いいえ	46 (97.9%)	12 (92.3%)	54 (91.5%)	112 (94.1%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。				
1:非常に動揺する	21 (44.7%)	4 (30.8%)	35 (59.3%)	60 (50.4%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	24 (51.1%)	4 (30.8%)	20 (33.9%)	48 (40.3%)
3:あまり気にならない	2 (4.3%)	5 (38.5%)	4 (6.8%)	11 (9.2%)
⑤年齢				
1:20歳未満	1 (2.1%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
2:20歳～24歳	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (1.7%)	2 (1.7%)
3:25歳～29歳	7 (14.9%)	1 (7.7%)	9 (15.3%)	17 (14.3%)
4:30歳～34歳	16 (34.0%)	3 (23.1%)	19 (32.2%)	38 (31.9%)
5:35歳～39歳	17 (36.2%)	4 (30.8%)	20 (33.9%)	41 (34.5%)
6:40歳以上	6 (12.8%)	3 (23.1%)	10 (16.9%)	19 (16.0%)
⑥出産回数				
1:0回	26 (55.3%)	4 (30.8%)	29 (49.2%)	59 (49.6%)
2:1回	19 (40.4%)	5 (38.5%)	20 (33.9%)	44 (37.0%)
3:2回	2 (4.3%)	4 (30.8%)	10 (16.9%)	16 (13.4%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。				
1:増えた	45 (97.8%)	11 (84.6%)	55 (93.2%)	111 (94.1%)
2:増えなかった	1 (2.2%)	1 (7.7%)	4 (6.8%)	6 (5.1%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)

(表 5)

成増産院	H29年度	H30年度	R1年度	合計
回答数	99	99	99	297
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。				
1:はい	77 (77.8%)	79 (79.8%)	80 (80.8%)	236 (79.5%)
2:いいえ	22 (22.2%)	20 (20.2%)	19 (19.2%)	61 (20.5%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。				
1:はい	47 (47.5%)	48 (48.5%)	52 (52.5%)	147 (49.5%)
2:いいえ	52 (52.5%)	51 (51.5%)	47 (47.5%)	150 (50.5%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。				
1:はい	5 (5.1%)	2 (2.0%)	7 (7.1%)	14 (4.7%)
2:いいえ	94 (94.9%)	97 (98.0%)	92 (92.9%)	283 (95.3%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまでに1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。				
1:非常に動揺する	49 (50.0%)	43 (43.4%)	49 (50.0%)	141 (47.8%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていたら検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	41 (41.8%)	48 (48.5%)	35 (35.7%)	124 (42.0%)
3:あまり気にならない	8 (8.2%)	8 (8.1%)	14 (14.3%)	30 (10.2%)
⑤年齢				
1:20歳未満	1 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	2 (0.7%)
2:20歳～24歳	10 (10.2%)	11 (11.2%)	8 (8.1%)	29 (9.8%)
3:25歳～29歳	26 (26.5%)	22 (22.4%)	31 (31.3%)	79 (26.8%)
4:30歳～34歳	36 (36.7%)	45 (45.9%)	36 (36.4%)	117 (39.7%)
5:35歳～39歳	24 (24.5%)	18 (18.4%)	21 (21.2%)	63 (21.4%)
6:40歳以上	1 (1.0%)	2 (2.0%)	2 (2.0%)	5 (1.7%)
⑥出産回数				
1:0回	45 (45.9%)	54 (55.1%)	50 (50.5%)	149 (50.5%)
2:1回	37 (37.8%)	35 (35.7%)	33 (33.3%)	105 (35.6%)
3:2回	16 (16.3%)	9 (9.2%)	16 (16.2%)	41 (13.9%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。				
1:増えた	96 (98.0%)	96 (98.0%)	94 (94.9%)	286 (96.9%)
2:増えなかった	2 (2.0%)	2 (2.0%)	4 (4.0%)	8 (2.7%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (0.3%)

(表 6)

松田母子クリニック	H29年度	H30年度	R1年度	合計
回答数	100	100	100	300
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。				
1:はい	86 (86.0%)	83 (83.0%)	81 (81.0%)	250 (83.3%)
2:いいえ	14 (14.0%)	17 (17.0%)	19 (19.0%)	50 (16.7%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。				
1:はい	68 (68.0%)	59 (59.0%)	58 (58.0%)	185 (61.7%)
2:いいえ	32 (32.0%)	41 (41.0%)	42 (42.0%)	115 (38.3%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。				
1:はい	4 (4.0%)	7 (7.0%)	12 (12.0%)	23 (7.7%)
2:いいえ	96 (96.0%)	93 (93.0%)	88 (88.0%)	277 (92.3%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。				
1:非常に動揺する	51 (51.0%)	46 (46.0%)	36 (36.0%)	133 (44.3%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	40 (40.0%)	37 (37.0%)	55 (55.0%)	132 (44.0%)
3:あまり気にならない	9 (9.0%)	17 (17.0%)	9 (9.0%)	35 (11.7%)
⑤年齢				
1:20歳未満	1 (1.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)
2:20歳～24歳	8 (8.0%)	8 (8.0%)	11 (11.0%)	27 (9.0%)
3:25歳～29歳	19 (19.0%)	24 (24.0%)	33 (33.0%)	76 (25.3%)
4:30歳～34歳	41 (41.0%)	39 (39.0%)	39 (39.0%)	119 (39.7%)
5:35歳～39歳	23 (23.0%)	26 (26.0%)	15 (15.0%)	64 (21.3%)
6:40歳以上	8 (8.0%)	2 (2.0%)	2 (2.0%)	12 (4.0%)
⑥出産回数				
1:0回	37 (37.0%)	52 (52.0%)	51 (51.0%)	140 (46.7%)
2:1回	44 (44.0%)	32 (32.0%)	38 (38.0%)	114 (38.0%)
3:2回	19 (19.0%)	16 (16.0%)	11 (11.0%)	46 (15.3%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。				
1:増えた	96 (96.0%)	96 (96.0%)	87 (87.0%)	279 (93.0%)
2:増えなかった	4 (4.0%)	4 (4.0%)	12 (12.0%)	20 (6.7%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (0.3%)

(表 7)

伊東レディースクリニック	H30年度	R1年度	合計
回答数	19	59	78
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。			
1:はい	13 (68.4%)	45 (76.3%)	58 (74.4%)
2:いいえ	6 (31.6%)	14 (23.7%)	20 (25.6%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。			
1:はい	5 (26.3%)	21 (35.6%)	26 (33.3%)
2:いいえ	14 (73.7%)	38 (64.4%)	52 (66.7%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。			
1:はい	2 (10.5%)	4 (6.8%)	6 (7.7%)
2:いいえ	17 (89.5%)	55 (93.2%)	72 (92.3%)
④HIVスクリーニング検査で陽性と出た場合、確認検査の結果が出るまでに1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。			
1:非常に動揺する	8 (42.1%)	29 (49.2%)	37 (47.4%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	9 (47.4%)	20 (33.9%)	29 (37.2%)
3:あまり気にならない	2 (10.5%)	10 (16.9%)	12 (15.4%)
⑤年齢			
1:20歳未満	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (1.3%)
2:20歳～24歳	4 (21.1%)	11 (18.6%)	15 (19.2%)
3:25歳～29歳	4 (21.1%)	18 (30.5%)	22 (28.2%)
4:30歳～34歳	9 (47.4%)	16 (27.1%)	25 (32.1%)
5:35歳～39歳	2 (10.5%)	12 (20.3%)	14 (17.9%)
6:40歳以上	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (1.3%)
⑥出産回数			
1:0回	9 (47.4%)	27 (45.8%)	36 (46.2%)
2:1回	6 (31.6%)	17 (28.8%)	23 (29.5%)
3:2回	4 (21.1%)	15 (25.4%)	19 (24.4%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。			
1:増えた	19 (100.0%)	57 (96.6%)	76 (97.4%)
2:増えなかった	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	2 (3.4%)	2 (2.6%)

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）スクリーニング検査に関するアンケート調査のお願い

平成30年12月5日 第1版

令和1年8月16日 第2版

今回、令和元年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業）「HIV感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班が行っている研究の一部として、HIV母子感染についての知識の確認およびHIVスクリーニング検査の方法の妥当性について検討することを目的として、妊婦さんを対象としたアンケート調査を行うこととなりました。

この説明文は臨床研究への参加をお願いするためのものです。この説明文をよくお読みいただくとともに、担当医師の説明をよく聞かれ、この臨床研究に参加されるか否かをお決めください。参加されなくてもあなたが不利益を被ることはありません。

尚、この調査は当センターの倫理委員会で、その科学性・倫理性が審議され承認されたものであり、当センター総長の許可を得ています。

=====

HIVとは、エイズ（後天性免疫不全症候群）の原因ウイルスです。我が国のHIV感染者は増加傾向にあり、日本での妊婦のHIV罹患率は約0.01%（1万人に1人）といわれています。HIVの感染経路は、約80%が性行為であり、また女性の感染は若い人に多い傾向があります。

母体がHIV感染者であった場合、予防を行わなければ約25~30%の赤ちゃんにHIVが感染しますが、妊娠初期から適切な予防を行っていればほぼ100%母子感染を防ぐことができます。そのため、日本のほぼすべての病院では、妊娠初期検査の一環としてHIV感染を検出するためのスクリーニング検査を施行しています。

スクリーニング検査では、ウイルスに感染した時に、体が作り出す抗体があるかないかを調べています。スクリーニング検査が陰性であれば、感染はないとかがえられます。**スクリーニング検査が陽性であった場合は、感染している可能性があります。偽陽性（本当は感染していないにもかかわらず、陽性としてしまう）のことも多いため、本当に感染しているかどうかは追加の確認検査で詳しく調べる必要があります。**

これまでの調査で、スクリーニング検査では1万人が検査した場合31人がスクリーニング陽性となることが分かっています。しかし、そのうち本当に感染している“真の陽性者（確認検査で陽性）”は1人のみで、30人は実際にはHIVに**感染していない**と報告されています。しかし、いったんスクリーニング検査で陽性と

説明された妊婦さんは、確認検査の結果が判明するまでの期間、精神的な不安・苦痛を受けることが想像されます。このような混乱を回避する対策を提案することが課題となっており、HIV スクリーニング検査の意義と、その結果の解釈について、妊婦さん自身の立場からのご意見をお聞かせいただきたいと考えております。この調査研究への参加に同意いただける場合、次ページのアンケートにお答えください。

=====

1 研究の方法

- (1) 対象者：妊娠初期妊婦（妊娠初期検査を行う方）
- (2) 検査の実際：アンケート方式
- (3) 各情報は連結不可能匿名化とされ、個人情報漏洩することはないと、またデータから個人を特定することも不可能と考えます。
- (4) 調査を行い、情報を集中管理する施設：奈良県総合医療センター産婦人科
〒630-8581 奈良県奈良市七条西町 二丁目 897-5
Tel: 0742-46-6001 Fax: 0742-46-6011
管理責任医師：奈良県総合医療センター産婦人科 医師 石橋理子

- (5) 調査施行にあたり、必要と考える倫理的配慮
今回の調査は匿名のアンケート調査であり、調査施行については人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則り被験者に同意書による同意を得る必要はないと考えています。ご不明な点があれば、研究代表者までご連絡下さい。

2 研究観察期間：4 か月 * 解析期間を含めて 6 か月

3 研究に参加することにより予想される利益と起こるかもしれない不利益

- (1) 予想される利益
アンケート調査をおこなうことでウイルス学的スクリーニング検査の標準が我が国の社会的現状に即しているかの判定を行い、また妊婦だけでなく医療従事者及び国民の知識向上につながれば、HIV 感染に対する認識と知識が高まり、HIV 感染妊娠の減少や HIV 母子感染の防止に多大な効果をもたらすことが期待できます。調査で明らかになった問題点についても対策を講じることが可能になると期待されます。
- (2) 起こるかもしれない不利益
本研究に参加することで、身体的な不利益はありません。

4 研究に関する情報は、随時ご連絡します

5 以下の事項に該当する場合は研究を中止させていただく場合があります。

研究全体が中止された場合やその他の理由により、医師が研究を中止することが適当と判断した場合には研究を中止させていただきます。

6 研究結果が公表される場合でも、患者さんが特定されることはありません。

患者さんに関わる情報は連結不可能匿名化としますので、研究結果の公表の段階も個人情報が公表されることはありません。

7 試料等の保存、利用、廃棄の方法について

各研究協力施設内でアンケート用紙を集積し、研究者で回収します。研究者はデータ回収後 1 か月以内にデータクリーニングを行い、データ固定致します。研究等の実施に係わる必須文書（申請書類の控え、総長などからの通知文書、各種報告書の控え、その他必要な書類または記録など）は、保管責任者である石橋理子（奈良県総合医療センター産婦人科）が奈良県総合医療センター産婦人科に保存し、調査期間終了後にシュレッダー処理にて廃棄します。

8 患者さんの費用負担について

本研究は、エイズ対策研究事業「HIV 感染妊娠に対する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」によって行われます。また、アンケート調査であるため、研究に参加することでの診療に伴う費用負担が増えることはありません。

9 担当医師の連絡先

この研究について疑問や質問がありましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

奈良県総合医療センター

担当医師 : 産婦人科 名前 石橋 理子

連絡先 : 〒630-8581 奈良県奈良市七条西町二丁目 897-5

TEL : 0742-46-6001 (代)

HIV スクリーニング検査にかかわるアンケート

以下の質問にお答えいただき、該当するものに○をお書きください。

① HIV が母子感染(妊娠中に母体から赤ちゃんに感染)するということを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

② HIV のスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

③ HIV スクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性(詳しく調べると実際は感染していない:1万人のうち31人がスクリーニング検査で陽性となりますが、そのうち30人は確認検査の結果は陰性)であることを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

④ HIV スクリーニング検査で陽性とした場合、確認検査の結果が出るまでに1週間ほどかかります。その期間についてどのように想像しますか。

1. 非常に動揺する
2. 動揺はするが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる
3. あまり気にならない

⑤ このアンケートにお答えいただいた方の年齢をおしえてください。

1. 20歳未満
2. 20歳～24歳
3. 25歳～29歳
4. 30歳～34歳
5. 35歳～39歳
6. 40歳以上

⑥ このアンケートにお答えいただいた方の出産回数をおしえてください。

1. 0回
2. 1回
3. 2回以上

⑦ このアンケートで、HIV感染についての知識は増えましたか。

1. 増えた
2. 増えなかった
3. 以前にもこのアンケートを受けたことがある

ご協力ありがとうございました

サマリー

すべてのユーザー
100.00% ページビュー数

2019/12/11 - 2020/01/10

サマリー

ページビュー数



ページビュー数

2,943

ページ別訪問数

2,678

平均ページ滞在時間

00:03:25

直帰率

88.23%

離脱率

83.69%

ページタイトル	ページビュー数	ページビュー数 (%)
1. Q&A HIV感染妊娠と母子感染予防	2,055	69.83%
2. ガイドライン・マニュアル・リーフレット HIV感染妊娠と母子感染予防	427	14.51%
3. HIV感染妊娠と母子感染予防	280	9.51%
4. (not set)	48	1.63%
5. 資料ダウンロード HIV感染妊娠と母子感染予防	39	1.33%
6. 研究報告書 HIV感染妊娠と母子感染予防	34	1.16%
7. 研究目的 HIV感染妊娠と母子感染予防	20	0.68%
8. 研究組織 HIV感染妊娠と母子感染予防	14	0.48%
9. リンク集 HIV感染妊娠と母子感染予防	12	0.41%
10. お問い合わせ HIV感染妊娠と母子感染予防	9	0.31%